

スパイサイドを飲みつくす産地別 スパイサイド(2) 紅葉の季節～華やかでエレガントなスコッチを



スコッチウイスキー6大産地の中で最も蒸留所が密集しています。ハイランドの一部でしたが、この地方にはスペイ川の澄み切った流れが刻む感動的に美しい自然が残っています。蒸留所は50前後あります。エレガントさが特徴で、スパイサイド地方として独立して分類されています。今回はその中から新登場のシングルモルトを中心に5種類選びました。

スパイサイド各地区のウイスキー お好きなだけ
会費:3000円 (おつまみ付き・飲み方は自由)

10月18日(金)、25日(金)、22(火)、25(金)、26(土)、29(火)
他の日も応相談

17:00 - 20:00 要事前連絡 於:Café & Bar 朝堂院

The SINGLETON of DUFFTOWN

12年 40%

ミルトンダフ蒸留所

1897年に19世紀にナポレオン戦争の帰還兵のために出来たという町で創業。トレードマークは「遡上する鮭」。欧州産・米国产のオーク樽熟成。柑橘系の爽やかな深み。ストレートで。

爽やかな
ストレート



新規入荷

BENRINNES

15年 43%

ベンリネス蒸留所

1826年に創業。一部のもろみを3回蒸留する特殊な製法が伝統。プラム、カラメル、チョコの甘さにスパイシーさが残る。濃い目のソーダ割

濃い目で
ソーダ割



新登場

OLD BALLANTRUAN

10年 50%

トントール蒸留所

1964年に創業した新しい蒸留所。2005年からピートを焚いた製品をリリース。度数も高くアイラ的だが、その実、柑橘を甘さの中のピート感が心地よい。ストレートがおすすめ。

ピート



KNOCKANDO

15年 43%

ノックアンドウ蒸留所

1898年に創業された。J&Bの主要な原酒として知られている。フルーティーだがスパイシー。濃くて複雑味もある。少し加水すると甘くて香ばしい。蒸留年:2003年の記載あり。

J & B
原酒



新登場

STRATHISLA

12年 40%

ストラスアイラ蒸留所

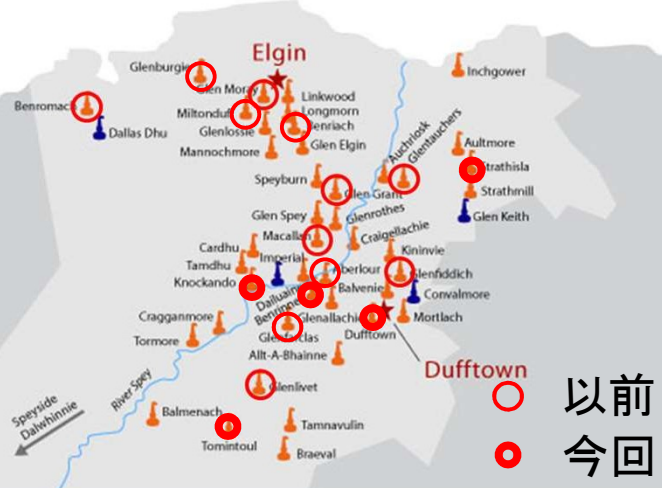
1786年創業でスパイサイドを含むハイランド地方で最古。名称のアイラは川の名。シーバスリーガルやロイヤルサルートのキーモルトである。ライチやアブリコット。ナッツやトフィーの余韻。スパイシーさも重なる。ストレートか少量の加水がおすすめ。

シーバス
リーガル
原酒

ハイランド
最古



新登場



以前
今回

在庫しているスパイサイドのシングルモルト (こちらもお楽しみいただけます!)

